

## 学会参加報告 日本機械学会 M&M2022 材料力学カンファレンス

慶應義塾大学大学院 総合デザイン工学専攻  
小茂鳥研究室博士2年 羽山元晶

私は、2022年9月26日～28日に弘前大学(青森県弘前市)で開催された、日本機械学会 M&M2022 材料力学カンファレンスに参加し研究発表を行いました。本カンファレンスは機械工学の中でも材料力学に関わる研究者、技術者が集う会議で、毎年秋に開催されています。COVID-19の影響で中止やオンライン開催が続き、3年ぶりの対面開催となりました。3日間で400件程度発表が行われており、非常に盛況な様子でした。

今回、私は「材料の疲労挙動と損傷評価」のセッションにおいて「SCM440 鋼表面に生じた圧縮残留応力の解放挙動に及ぼすピーニング処理条件の影響」というタイトルで発表を行いました。先日の ICSP14 での英語発表の後の、日本語発表ということもあり、楽しんでしっかりと自分の研究について発表できたと考えています。質疑応答でも3人の先生方から質問やコメントを頂き、自分の研究内容や考えが伝わった手ごたえを感じました。また質疑を通して、いろいろな方々から研究のアドバイスや、自分の持っていない視点からの研究に対する考え方を得ることもでき、今後の研究における糧となる非常に有意義な機会となりました。

他の方の発表では、疲労研究における最前線に触れることができ、非常に勉強になるとともに、好奇心をくすぐられる楽しい時間でした。また、質疑や議論も活発に行われており、一つの研究成果に対する様々な先生の多角的な視点からのアプローチを見ることができたことも非常に有意義な時間でした。

最後に、今回の貴重な発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、弘前にてお会いしお話しさせて頂いた皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。



開場にて羽山と小茂鳥先生



弘前の名所 弘前城